

鳥取市100円循環バス「くる梨」路線再編計画（案）

■意見募集期間：平成30年10月22日（月）～11月19日（月）

■意見応募者：47名

■意見総数：48件

	意見要旨	市の考え方
1	交通弱者の救済策であり賛成します。10年来悲願であり期待しています。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回いただいたご意見や、地域の方々のご意見等を踏まえ、具体的な路線を決定する予定としています。
2	交通弱者の救済策であり賛成します。10年来悲願であり大変期待しています。	
3	10数分かけて西中のところで乗車していたが、近くになり、歩く時間も縮小され、大変良い案で大歓迎。夏場の暑さ、冬場の寒さ、雨降りなど、気候の厳しい時期には大変助かります。数年来の悲願でありました。これで、行動範囲も広がるのではないかと期待しています。	
4	再編計画案はよく工夫されていると思いました。	
5	再編計画（案）は賛成です。高齢者に対する運転免許返納の推進があり、高齢者の社会性を高めるためにも公共交通空白地の解消が必要。実現をお願いしたいと思います。	
6	大変良い案であり是非進めてほしい。	
7	今までなかった路線で、大変良い案であり、是非進めてほしい。10年来の悲願であり大変期待しています。交通弱者の救済策です。	
8	賛成です。	
9	大賛成です。	
10	案に賛成です。路線見直しは利用利便性を考慮してあり大変効率的。併せて目的地到達に関しても時間短縮につながるのではないのでしょうか。	
11	西品治にも新しい家が建つようになっており、近くにくる梨が通ることは、非常に有難いです。財政状況もあるでしょうが、市民の足となって運行してほしいです。	
12	青色のコース（片原通り→新茶屋→元品治→千代町→行徳→トスク→駅） 大変良い案なので是非とも進めていただきたいです。	
13	大変良い案です。是非とも進めてください。	
14	青くる梨バスがBコースで富桑地区を走るのはとてもありがたいです。交通の便がよくなります。	
15	交通弱者に良い案です。よろしくお願いします。	
16	10年来の悲願です。よろしくお願いします。	
17	交通弱者や身体（精神）障がい者の救済策で、とても良いと思います。ぜひ、実現していただきたいと思います。	
18	大変良い案であり是非進めてほしい。交通弱者の救済策であり賛成します。	
19	今回の案については是非進めてほしいと思います。	

	意見要旨	市の考え方
20	路線見直しにより、富桑地区に新たな路線ができることで、お年寄りなどの利用が見込まれ、大変喜ばれると思います。この案で是非進めていただきたいと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回いただいたご意見や、地域の方々のご意見等を踏まえ、具体的な路線を決定する予定としています。
21	西品治の運行エリアが拡大したことは、大変喜んでおります。ぜひ、実現していただきたいと思います。車社会ですが、くる梨の利用者が増えることを祈っています。	
22	長い間の願いがやっと実現可能になったこと、大変うれしいです。街中に出かけて買い物をしたいと思っています。	
23	交通弱者の救済策には大変ありがたいと思います。この計画が実施されると病院・市役所・駅・図書館にいつでも利用できることをうれしく思います。	
24	念願の実現、大変喜んでおります。	
25	高齢により、免許返納も考慮に入れるようになりましたので、大変ありがたい案です。是非進めてください。	
26	緑コースで2核2軸を中心に運行に賛成です。赤・青コースで周辺住民の生活交通を確保し、緑コースへの乗継ぎを確保していただいたら、高齢者は助かります。	
27	住民の要望にそって、利用しやすいコース、停留所を決めてください。発表されたコースはありがたいと思っています。	
28	新青コースの県道宮ノ下十六本松線側道への乗入れは大賛成です。近年、富桑体育館周辺に新しい住宅団地ができて住民も急増しています。これまで、この辺りには公共交通機関が皆無で、マイカー以外で中心市街地に出かける際には徒歩かハイヤーしか手段はありませんでした。初の公共交通機関の誕生で、喜ぶ住民は非常に多いと思います。是非とも実現してください。なお、この新青コースについては、駅を出発して他の2路線と同様に大丸前を通過するのではなく、出発後すぐに左折し、国道53号線に右折で乗入れ、ロータリーを左折で梶川通りに乗入れるようにすれば、より多くの乗客にくる梨を利用する機会を提供できると思います。	
29	100円バスの運行計画を再検討とのことですが、現在循環していない地域の要望はたくさんあると思います。1巡に要する時間は30分程度までが良いと思います。そうなる範囲は決まってくると思います。現在の循環場所についてもほとんど利用が無い停留所もあり、利用人数等の統計を取って、循環場所の変更も必要かと思っています。特に大工町経由・行徳の聖神社経由は検討を要する。(赤コース) 日赤、とりぎん文化会館前を経由して片原通りに変更・大工町を中止して新しく日赤、文化会館前を経由しては。	
30	行き、帰り利用する人にとっては両方向あった方が便利とは思いますが、新たな停留所設置、混乱にもつながると思いますので、積極的には求めません。ただ、2~3年後に利用者の意見を聴いてみて下さい。	

	意見要旨	市の考え方
31	<p>通常時は鳥取駅前のバスターミナルを発車したあと、まずバードハットを通過して三井住友信託銀行鳥取支店前の交差点に向かうことになっていますが、何らかのイベントでバードハットを通れない場合には、そのバスターミナルを発車したあと、出口にあたる大丸前交差点を右折して鳥取銀行本店営業部前の交差点を左折してみずほ銀行鳥取支店前の交差点に向かっていたが、そのバスターミナルを発車したあとは出口にあたる大丸前の交差点を左折してスーパーホテル前の交差点を右折して「人形のはなふさ」前を通過して今町1丁目交差点を左折してトスク本店前や、あるいは瓦町ロータリーに向かうという経路、およびほぼ逆の方角になるトスク本店前から今町1丁目交差点を右折して「人形のはなふさ」前を通過してスーパーホテル前の交差点を左折して次の交差点を右折してバスターミナルに戻るといった経路も確保してほしいと思います。</p> <p>第2に、青コースは瓦町ロータリーから南町の谷口医院の前、右折して鹿野街道に入って鹿野橋を渡って同じく醇風小学校前を出たあと、営林署前の交差点を右折して国道53号線を県庁の方角に向けて進み、県庁前交差点を右折して「とりぎん文化会館」に停車し、中電ふれあいホール前交差点を右折して片原通りに入るというような設定になっていましたが、私が出した案では、営林署前の交差点は直進して県立博物館前を通過してすぐ右折して地裁前で智頭街道に入り福祉文化会館前を通った直後の交差点を右折して片原通りに入るという経路に変更していただきたいと思っています。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回いただいたご意見や、地域の方々のご意見等を踏まえ、具体的な路線を決定する予定としています。</p>
32	<p>現在、マルイ薬師町店まで通っていますが、田島の「さくら」バス停まで延長していただきます様、お願い致します。</p>	

	意見要旨	市の考え方
33	<p>・緑・赤・青の各コースのエリアと役割が明確に分担されており、分かりやすい経路設定と思います。是非とも進めて頂きたいです。</p> <p>・緑コースの駅南経路について、本計画案では、駅南地区は緑コースが担当し、右回りと左回りを交互に運行としています。</p> <p>しかし、この経路は、特に若桜街道方面から鳥取駅方面に緑コースで向かう乗客にとっては、駅に直行する便としない便が混在する事になり、混乱が生じると考えます。</p> <p>右回り左回り交互運行は、鳥取駅一市役所本庁舎一駅南庁舎の相互間利用が出来るように設定したものと理解します。そこで、駅南地区は下記経路で一方向に統一して運行することを提案します。</p> <p>若桜街道→鳥取駅バスターミナル→鳥取市役所本庁舎→（産業道路）→さざんか会館→ふれあい会館→鳥取市役所本庁舎→鳥取駅バスターミナル</p> <p>この経路なら、20分に1本の頻度で鳥取駅一市役所本庁舎一駅南庁舎の相互間利用が可能です。</p> <p>是非ご検討をお願いします。</p> <p>・赤コースのトスク本店経路について、本計画案では、赤コースは鳥取駅バスターミナル出発後、トスク本店周辺を右回りして、末広通りに向かう経路となっています。</p> <p>しかし、この案では赤コースのトスク本店停留所は店舗の向かい側となり、利用者は道路を横断する必要があります。この道路には、少し離れた場所に信号のある横断歩道があるものの、そこを利用せずに横断歩道が無い場所を横断する方が多く、大変危険です。</p> <p>事故を防ぐ意味からも、赤コースのトスク本店周辺経路は左回りとし、新しい青コースと同じくトスク店舗前の停留所に停まるようにすることを提案します。是非ご検討をお願いします。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回いただいたご意見や、地域の方々のご意見等を踏まえ、具体的な路線を決定する予定としています。</p>
34	<p>駅南方面には、病院（市立病院、開業医などたくさんあり）市立体育館、マーケットなど多数の市民が利用する場所が多数あります。現在、駅南方面は山茶花会館までですが、市内南方面に延長できないでしょうか。ご検討よろしくお願いします。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。くる梨は2核（鳥取駅及び鳥取城跡）間の運行を基本としているため、鳥取駅南側の公共交通空白地の解消については、本市全体の生活交通の維持・確保に向けた取り組みの中で、引き続き検討していくこととしています。</p>
35	<p>赤・青コースの用途が「駅西側周り」「駅東側周り」と明確に分けられた一方「トスク本店」や「とりぎん文化会館」での乗り継ぎも確保され、分かりやすく、一層便利になる、という印象を受けました。また、今回の目玉は、西品治方面への乗り入れだと思われませんが、周辺には学校や商業施設も多く、利便性の益々の向上が期待できると思います。</p> <p>ただ、疑問に感じたのが、緑コースの改編です。資料を拝読する限りでは、市役所新庁舎と駅南庁舎間の双方向でのアクセス手段を確保するために駅南エリアを両回りに改正する、という風に捉えました。しかし、新ルート案では新庁舎先回りのバスは庁舎手前の交差点で左折してショートカットしてしまう様で、両回りの意義が薄れてしまうのでは、と感じました。また、私自身お世話になっており、利用者も比較的多いと感じる駅南口バス停の廃止も少し困るところです。可能であれば継続をお願いしたいと思います。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。緑コースのルート案は、鳥取駅から国道53号を通過して新庁舎に入り、折り返して交差点を左折します。この経路により市役所新庁舎と駅南庁舎を結ぶイメージです。</p>

	意見要旨	市の考え方
36	赤十字病院が新しくなり玄関が国道から離れました。特に高齢者や具合の悪い方がバスで通院する場合、日赤病院の中に入って玄関にバス停があると格段に助かります。特に天候の悪い時は必須です。また、全ての路線から日赤病院に通院されますので、路線は3本とも赤十字病院に入ってもらわなければならないことが必要です。バスの利用者は駅を利用する人、高齢者、学生、子供など交通弱者です。そして病院に通院する人は病気を持った人たちです。病院は公共施設の中でバスを利用してでもどうしても行かなければならない最も必要な施設です。是非3路線とも日赤病院に入るように計画してください。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。鳥取赤十字病院への乗入ルート案について、改めて検討したいと思います。
37	若桜街道を歩いていると、日赤病院から県庁・日赤前のバス停までゆっくり歩いている人を見かける。おそらく、受診した患者と思われる。 緑や青も病院のそばを走っているので、前まで行ってもいいのでは？	
38	日赤病院にバス停を作ってほしい。病院が新しくなってから、とりぎん文化で乗り降りしないといけなくなって、少し距離があるので、病気でやっているのにしんどい。 100円バスで通院している人も多いので、どのコースでも行きやすいようにしてほしい。	
39	くるりの緑ルートに鳥取赤十字病院を通過していただきたいです。	
40	ほとんど毎日主に通勤に東西範囲で利用しています。再編案では時間的に乗り換えも難しく費用もかかり、通勤には使えません。また、高齢者の場合乗り換え自体に身体的負担がかかると考えられます。くる梨のおかげで大変助かったのですが残念です。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回の路線再編案は29年度に実施した乗降調査の結果を踏まえ、くる梨の路線を東西で分割し、運行エリアを拡大するという方針で検討しています。路線再編により不便になる方への対応についても、検討をしているところです。
41	路線の検討方針に2軸より東西とありますが、見直し案は、トスクでダブっている。路線の見直しをかけるうえで、東西で分け、乗継ぎ地点の明確化・迅速化を計算し路線を構築すべきだと思います。乗客の動向をみると、青は西側で、わらべ館・とりぎん・片原・相生・マルイ・交通空白地の常忍寺・トスク・市役所。緑は、鹿野橋・西町・擬宝珠橋・とりぎん・駅南庁舎・新庁舎。赤は、新庁舎・交通空白地の産業体育館・さざんか・駅南庁舎・生協病院・内吉方・やまびこ館・とりぎん・日赤・弥生橋が、最適に思います。できれば、ラムーにもアクセスしていただくと、東高生にとっても、ほかの学校と同じ条件となり、不公平がなくなると思います。又、100円バスを多くの方にご利用いただけるよう新庁舎の駐車場を利用し、3方向の路線発着をうたい文句に利用を促進してはいかがでしょうか。また、現在の仁風閣・県立博物館前のバス停は、交差道路又線形不良個所にあり、とても危険です。擬宝珠橋に新たにバス停を設置し、緑コースを西町5丁目・西町・擬宝珠橋・県庁西口・とりぎんにすべきと考えます。交通の安全・観光の導線・その他苦情等の観点から提案経路が妥当と思います。駅南の経路については、緑については現状と同じとし、赤コースを駅・新庁舎・交通空白地の産業体育館を通り産業道路を通りさざんか会館へ抜けるが最も適当に思います。ご検討をお願いします。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回、平成29年度に実施した乗降調査結果を踏まえ、中心市街地周辺における公共交通空白地の解消を目的のひとつとし、路線再編案を作成しています。ご指摘のあったラムー方面ですが、本市の定義する公共交通空白地（最寄り駅やバス停からおおむね400m以上離れた地域）の範囲外であったため、今回の案には含めておりません。再編後のくる梨の路線については、今回いただいたご意見や地域の方々のご意見を踏まえて検討していきます。また、停留所の位置についても、併せて検討していきます。

	意見要旨	市の考え方
42	南町交差点～行徳公園入口が廃止されるようですが、高齢化が加速している中で不便になり残念です。	
43	<p>県立図書館や鳥取駅、日赤病院や生協病院、県東部の免許試験場（これらの施設は町の中心部にあります）に行くとき、くる梨に乗ったりしています。今、くる梨の路線を見直しするようですが、行徳2丁目は廃止しない方がいいと思います。</p> <p>又、行徳2丁目停留所が廃止になった場合、行徳2丁目の近くに最寄の代わりの停留所を設ける予定はあるのでしょうか？</p>	
44	<ul style="list-style-type: none"> ・私は温泉に入りたくて青コースを利用し、大変ありがたく思っています。新しい案では必ず乗り継ぎしなくてはなりません。料金、時間とも倍かかります。一番難儀なのは乗換えです。高齢者にとって大変なことです。降りてからすぐに乗継ぎできるのかどうか？調べるのも大変です。乗り降りも大変です。せめて今のままでお願いします。 ・緑のコースの左⇄右を横断するコースをぜひお願いします。時間が少し長くなっても良いです。 	

このほか、くる梨や他の公共交通等についてたくさんのご意見・ご要望をいただきましたが、くる梨の路線再編案関連の意見のみ掲載しています。

停留所については路線決定後、別途検討します。

また、停留所の位置についてのご要望もいただきましたが、路線と併せて検討し、廃止されるバス停については、これまで利用されていた方が不便にならない位置に、新設バス停を設置するなどして対応したいと考えています。

いただいたご意見にはすべて目を通しています。ご了承ください。